

# 白鳥誠 市政レポート Vol.73



発行：千葉市議会議員 白鳥誠事務所

〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南2-97-9 TEL.043-293-7130 FAX.043-307-4882  
E-mail : info@m-shiratori.jp URL : www.m-shiratori.jp

令和2年7月 第1回臨時会 7月27日～29日

今回の臨時会は、今年度(令和2年度)6つ目の補正予算となる新型コロナウイルス対策を計上する7月補正予算を審議するために、3日間開催されました。これまでに、新型コロナウイルス感染症対策として、感染防止対策、生活者・事業者支援等に約1,124億円が今年度の補正予算に計上されてきましたが、7月補正予算は、新型コロナウイルス感染症への本市独自の対策として、中小企業者事業継続給付金や、ひとりぐり応援事業のほか、新しい生活様式の定着に向けて、学校特別教室のエアコン設置や災害時の分散避難の推進に係る経費などが計上され、全会一致で可決承認されました。今議会で、私は補正予算に対する会派を代表しての議案質疑、保健消防委員会での議案審議を行いました。今号では、この補正予算の概要・考え方について報告します。また、新型コロナウイルスによる様々な影響があるなかで、地域活性化のために頑張っている活動・団体をご紹介します。

## 7月補正予算：50億5,200万円

これまでの新型コロナウイルス感染症対策経費総額 (令和元年度及び令和2年度)  
**総額1,182億5,400万円**(うち令和2年補正予算1,174.4億円\*1)

\*1 令和2年度予算の総額に占める割合は約12%

財源内訳…国・県1,060.6億円、地方創生臨時交付金103.2億円、市費18.8億円

\*地方創生臨時交付金：地域経済や住民の生活を支援し地方創生を図るために国から地方に交付されるお金(今年度、主にコロナ対策経費に活用)

### 7月補正予算に計上された主な事業

#### ◆国・県の主な事業

(国や県の事業で市が補正予算を組み執行する事業)

- 学校の感染症対策強化(約2.6億円)  
全市立小・中・高・特別支援学校(計170校)を対象に、感染拡大のリスクを最小限にするための備品等の購入、加湿器、映像発信設備等の整備
- 社会福祉施設等(子どもルーム、アフタースクール、児童養護施設、乳児院等)の感染拡大防止対策(3.7億円)
- 社会福祉施設(特別養護老人ホーム7か所・介護老人保健施設4か所)簡易陰圧装置設置助成(2億円)



#### ◆市独自の主な事業

(国・県が実施していない支援を市が独自に行うために設定した事業、財源は主に地方創生臨時交付金や市の一般財源)

- 中小企業者事業継続給付金(4.4億円)  
市内中小企業者の支援のため、国等の給付金制度の対象外となっている事業者へ給付金を支給  
支給額：20万円/者 申請時期：令和2年9月～11月 随時支給
- ひとりぐり応援講座等利用促進(3.2億円)  
文化・教養・資格取得・スポーツ等各講座の新規受講者の減少に鑑み、学びの機会回復による文化振興・雇用促進に向けた取組みを実施 対象：市内習いごと事業者 助成額：①受講料金助成(受講料の50%割引相当額)、②感染拡大防止対策費支援(一律3万円) 実施期間：令和2年10月～令和3年3月
- 文化芸術活動の支援(1.1億円)  
市内での文化芸術活動の再開を後押しするため、文化芸術活動の支援等を実施
  - 文化芸術発表の支援(市文化施設の各ホールの利用料金を免除)、デジタルミュージアム推進、文化芸術鑑賞イベント支援(屋外のイベント)、動画配信環境整備助成
- 学習環境の整備  
市内 小・中・高校(163校)の特別教室(理科室、家庭科室、図工室、美術室等 計851教室)のエアコン設置(26億円)、オンライン指導のための環境整備、図書館のICT化(WiFi環境の整備)
- 避難所における3密対策  
避難所における3密を回避することを目的に、分散避難を推進するための取組みを実施
  - 備蓄倉庫の整備(1.4億円)、町内自治会集会所への備蓄品等配備、等
- その他
  - 地域公共交通支援、在宅高齢者等へのサービス継続支援、PCR検査等協力支援金、就労継続支援事業所の生産活動活性化支援、在宅保育支援給付金、ドライブスルー方式での検体採取(令和3年3月まで期間を延長)等



### 主な議案質疑Q&A

**Q1** 6月補正予算までのコロナ対策における成果・課題とそれを踏まえた今回の補正予算における改善点・今後の考え方について

**A1** 国制度への的確な対応とともに、本市独自の対策を進めてきた結果、感染者の抑制や、家計・事業継続への支援等に一定の成果があったものと認識。一方で、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、感染症対策と社会経済活動の両立が課題となっており、感染拡大防止の徹底とともに、支援対象の拡大や、新しい生活様式の定着に向けた対策が必



要であると認識している。このため、今回の補正予算では、大幅に拡充された地方創生臨時交付金を活用して、学校等における感染症対策に引き続き取り組むとともに、国制度の対象とならない事業者や、社会生活を維持する上で必要な業種に対する支援など、地域経済の回復に取り組むほか、学校特別教室へのエアコン設置など、新しい生活様式の定着に向けた環境整備に取り組むこととしている。今後については、新型コロナウイルス感染症の影響の拡大が懸念される冬場の対応を見据え、支援を必要とする市民・事業者の実態を十分に把握した上で、地方創生臨時交付金の他、必要に応じて財政調整基金を機動的に活用しながら、効果的な対策を切れ目なく実施していく。

## 主な議案質疑Q&A

### Q2 分散避難の考え方について

**A2** これまでは、災害による被害にあった方や、在宅での生活に不安のある方等は、学校や公民館などの指定避難所に避難することを前提とした防災対策を進めてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、3密状態に陥りやすい、避難所のあり方の転換が課題となっていた。そこで、できる限り避難者にならないことや、指定避難所以外に避難すること、より多くの避難スペースを確保することなど、分散避難を推進していくこととした。具体的には、在宅避難、友人や親戚宅等への避難、町内自治会集会所への避難、車中泊、ホテル等民間宿泊施設の活用、指定避難所での教室等の積極的活用などを進めていきたいと考えている。

### Q3 備蓄品配布対象とする集会所の選定の考え方について

**A3** 現在、市内で約800の町内自治会が集会所を所有している、その中で、新耐震基

準となった昭和56年以降に建てられた施設と、耐震改修補助制度を活用した施設を合わせた約400か所が耐震性を確保しているものと考えられ、この度の予算額を算出する対象としている。今後は、さらに、浸水想定区域や土砂災害警戒区域等に該当しないことや、避難者の受け入れ体制が整っていることなど、備蓄品配布対象とする集会所の条件を検討していく。



### Q4 経済と感染防止を両立させるには、検査数を増やし、陰性者が通常の活動ができる状況を創り出すことが必要と考えるが市の方針は?

**A4** 検査は、検査時の感染の有無を確認するものであり、その時に陰性であったとしても、検査後に感染する可能性があります。感染拡大を防ぐためには、自身の健康管理や手洗いなどの徹底、マスクの着用、3密の状況を避けるなどの感染対策が必要であり、その周知徹底が重要であると考えている。

## 千葉県新型コロナウイルス感染者発生状況

**感染者数 265名** 8月5日時点

(患者数227名、無症状病原体保有者数21名、市外患者17名)

[入院中27名(重症0名、中等症1名、軽症等26名)、入院調整中0名、退院178名、死亡6名、ホテル療養中7名、療養終了30名]

### ● 区別患者情報：令和2年8月3日時点

|      | 患者数 | 人口10万人あたり |
|------|-----|-----------|
| 中央区  | 67  | 31.9      |
| 花見川区 | 39  | 22.0      |
| 稲毛区  | 46  | 29.0      |
| 若葉区  | 40  | 26.8      |
| 緑区   | 18  | 13.9      |
| 美浜区  | 30  | 20.1      |
| 市外   | 15  | —         |
| 非公表  | 2   | —         |

|    | 検査数    | 患者発生数 | 陽性割合 |
|----|--------|-------|------|
| 4月 | 1,398件 | 89名   | 6.4% |
| 5月 | 1,249件 | 15名   | 1.2% |
| 6月 | 784件   | 5名    | 0.6% |
| 7月 | 2,430件 | 128名  | 5.3% |

\* 検査数は検査日時点、  
患者発生数は発表日時点  
\* 陽性割合 = 患者発生数 ÷ 検査数



## 感染防止と経済の両立を目指す対策を!

終息しかけたかに見えた新型コロナの感染の勢いが増えています。5月25日に「緊急事態宣言」が解除された翌月・6月下旬ころから、全国的に、新規感染者数が徐々に増え始めました。千葉市においても、6月の患者発生数は、5名にとどまりましたが、7月は4月の発生数を大きく超える128名に達しています。今後、感染拡大はどこまで続くのか懸念されています。一刻も早く感染拡大を止め、経済の立て直しを進めることが求められています。しかしながら、4月のときのように、国は、なかなか緊急事態宣言が出せないなかでは、感染拡大が止められる目は立っていないと言わざるを得ない状況です。いま、都道府県単位で独自の自粛要請や緊急事態宣言を出す等の動きが広がっていますが、法改正・財源の問題等々の観点から、国全体での戦略的な方針(感染拡大防止策と経済の立て直しをどう進めるのか)のもとに対策が行われなければなりません。私は、まずは抗原検

査・PCR検査等の拡充を図ることが、重要と考えるますが、「PCR検査の精度は、決して高くはないため、やみくもに検査をすれば、偽陽性(本当は感染していないのに陽性となる)や、偽陰性(本当は感染しているのに陰性となる)の人がたくさん出てくる。その結果、偽陽性の人のために療養する施設が不足する、偽陰性の人が感染を広げる、など、感染防止のコントロールが効かなくなってしまう」という、指摘があります。しかしながら、他に有効な方法・策が見いだせないのであれば、検査の拡充が有効となるような進め方を検討し、道筋を示しながら実施していかなければならないと考える。治療薬やワクチンが開発され使用できるようになるまでには、まだ相当の時間がかかります。早く感染拡大を止め、多くの方が安心して活動できるようになる状況をつくるために、PCR検査等の拡充、事業・生活支援、医療体制の拡充等に取り組むとともに、国に対して求めてまいります。

地域で、  
頑張っている活動を紹介します!

千葉市の『つくる人』と『たべる人』をつなげる『千葉県つくたべプロジェクト』

千葉県では、地産地消推進の一環として『千葉県つくたべプロジェクト』を2016年より始動しました。2017年より市内の農産物を市民が気軽に購入したり食べられる飲食店など地産地消に積極的に取り組む企業や店舗の登録を始めました。



登録企業の1つ『ファームサポート千葉』さんをご紹介します。千葉市の耕作放棄地や休耕地を減らしたいと3年前に一念発起して起業。『農業経験なし・農地なし・農機なし』のないない尽くしてスタートし現在では1町歩の畑と果樹を育てるまでになりました。自身の育てた野菜と果樹の他に、千葉市の新規就農者からベテラン農家まで多数の農家さんと野菜を買い取り市内のスーパーや百貨店・レストラン・宿泊施設に卸しています。土気由来から野菜など伝統野菜の保存にも尽力しています。

ファームサポート千葉の青果物の市内販売店・飲食店  
そごう千葉店地下1階階塚青果・スーパーLEO(菅田店)  
ボンメゾンマルシェ(あすみが丘店)・レストランMEGUMIなど

白鳥 誠  
プロフィール

1958年 (昭和33年1月30日生まれ)  
1976年 千葉県立木更津高校卒業  
1981年 立教大学を経て、そごう百貨店入社(1999年まで18年間、有楽町そごう勤務)  
2003年 衆議院議員公設秘書  
2007年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。初当選  
2011年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。2期目当選  
2015年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。3期目当選  
2019年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。4期目当選



みなさまのご意見をお聞かせください!

市政報告会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回は開催しないことといたしました。今回取り上げた問題等、市政に関すること何でも結構です。みなさんのご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。

E-mail : info@m-shiratori.jp Fax : 043-307-4882 白鳥携帯 ☎090-5794-7149